

「令和3年度中学生チャレンジテスト」を実施します。

大阪府教育委員会

実施の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力の状況をつかむことで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育にいかします。
- 生徒のみなさんが、自分の学習の到達状況を正しく知ることにより、自分の学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高めます。
- 大阪府教育委員会が、調査結果を使って、大阪府公立高等学校入学者選抜の調査書に記載する評定が、公平性の高いものであるかどうかを確認する資料を作成し、市町村教育委員会と学校に提供します。

実施日

第1学年
第2学年

令和4年1月13日(木)

第3学年

令和3年9月2日(木)

実施内容

対象

府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程及び府立中学校並びに支援学校中学部の第1学年、第2学年、第3学年の生徒

教科

第1学年
国語、数学、英語

第2学年、第3学年
国語、社会、数学、理科、英語

(英語は、第1・2・3学年ともリスニング問題を含む)



実施時間

1教科あたり45分

出題形式

- 選択式問題(選択肢から選んで答える問題)
- 短答式問題(短い語句や数値等で答える問題)
- 記述式問題(長い語句や文章等で答える問題)

時間割

| 第1学年 | 1時限目 | 2時限目 | 3時限目 |
|------|------|------|------|
| | 国語 | 数学 | 英語 |

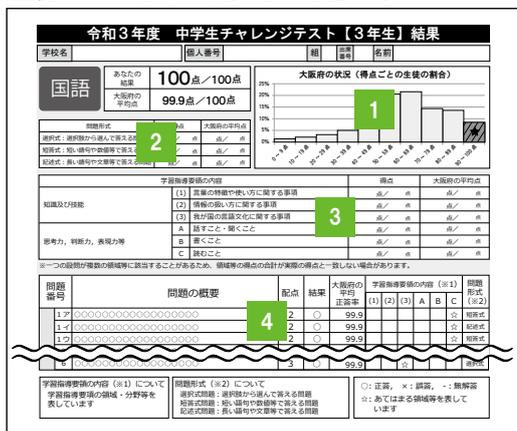
| 第2学年 第3学年 | 1時限目 | 2時限目 | 3時限目 | 4時限目 | 5時限目 |
|--------------|------|------|------|------|------|
| | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 |

※開始時刻は、各学校で決めます。

結果の提供

結果は、生徒一人ひとりに個人票で提供されます。(中学1、2年生は令和4年3月中に、中学3年生は令和3年11月中に学校から提供される予定です。)

生徒のみなさんに提供される個人票のイメージ



個人票には、以下の内容が記載されています

- 1 大阪府全体の得点ごとの生徒の割合
- 2 問題形式別のあなたの得点、大阪府の平均点
- 3 問題領域別のあなたの得点、大阪府の平均点
- 4 問題ごとのあなたの結果、大阪府の正答率等

個人票は、今後の学習に活用できます

- 自分の学習の得意なところや苦手なところがわかります。
- 間違った問題にもう一度取り組んだり、苦手分野の復習につなげたりすることができます。

日々の学習や苦手分野の復習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のウェブサイトにて復習教材として掲載していますので、ご活用ください。

☆ 復習教材 https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html

※個人票に記載された内容に関するお問い合わせは、学校から示された期間内に学校に申し出てください。

第1学年 出題範囲等

国語

※以下の題材を用いて、内容を正確に理解したり、適切に表現したりすることについて出題します。

《取り扱う題材》

- 漢字の読み・書き、言葉の特徴やきまりに関するもの
- 書写（楷書と行書）
- 文学的な文章、説明的な文章
- 児童・生徒の作文、発表原稿などの成果物、その他図表等を含むさまざまな種類の資料
- 古典、その他複数の題材を関連付けたもの

数学

《出題範囲を取り扱うページ》

| 発行者 | 単元名 | | | ページ |
|--------|---------------|------------------|----------------------|---|
| 東京書籍 | 0章 算数から数学へ | 2章 数学のこぼれを身につけよう | 4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう | P.9～P.178 |
| | 1章 数の世界をひろげよう | 3章 未知の数の求め方を考えよう | 5章 平面図形の見方をひろげよう | |
| 学校図書 | 1章 正の数・負の数 | 3章 1次方程式 | 5章 平面図形 | P.12～P.193 |
| | 2章 文字式 | 4章 比例と反比例 | | |
| 教育出版 | 1章 整数の性質 | 3章 文字と式 | 5章 比例と反比例 | P.13～P.192 |
| | 2章 正の数、負の数 | 4章 方程式 | 6章 平面図形 | |
| 啓林館 | 1章 正の数・負の数 | 3章 方程式 | 5章 平面図形 | P.10～P.168 |
| | 2章 文字の式 | 4章 変化と対応 | | |
| 数研出版 | 1章 正の数と負の数 | 3章 1次方程式 | 5章 平面図形 | P.15～P.185 |
| | 2章 文字と式 | 4章 比例と反比例 | | |
| 日本文教出版 | 1章 正の数と負の数 | 3章 方程式 | 5章 平面図形 | P.14～P.190 |
| | 2章 文字と式 | 4章 比例と反比例 | | |
| 大日本図書 | 1章 数の世界のひろがり | 3章 1次方程式 | 5章 平面の図形 | P.12～P.201 ◆P.174～P.177 (円とおうぎ形)を除く |
| | 2章 文字と式 | 4章 量の変化と比例、反比例 | | |

※上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

英語

《出題範囲を取り扱うページ》

| 発行者 | 単元名 | ページ |
|------|---|-----------|
| 東京書籍 | Unit0 Welcome to Junior High School ～ Let's Read1 | P.4～P.99 |
| 開隆堂 | Get Ready ～ Steps5 絵や写真を英語で表現しよう | P.7～P.102 |
| 光村図書 | Let's Be Friends!①～SING A SONG② | P.6～P.103 |
| 三省堂 | Starter1 英語の文字と音～Lesson6 USE Write | P.8～P.105 |
| 啓林館 | Let's Start1～Project2② | P.8～P.93 |

★出題は《出題範囲を取り扱うページ》から行います。ただし、文法事項については《取り扱う言語材料》に記載しているもののみとします。

※上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

《取り扱う言語材料》

- 単文、重文
- 肯定及び否定の平叙文（現在形）
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、be 動詞で始まるもの、助動詞（can, do など）で始まるもの及び疑問詞（how, what, where, which, who, whose）で始まるもの
- 名詞の単数形及び複数形
- 文構造
 - ▶[主語＋動詞]
- ▶[主語＋動詞＋補語]のうち、主語＋be 動詞＋{名詞 代名詞 形容詞}
- ▶[主語＋動詞＋目的語]のうち、主語＋動詞＋{名詞 代名詞}
- 代名詞
 - ▶人称や指示、疑問を表すもの
- 助動詞（can）
- 動詞の時制及び相など
 - ▶現在形
- 語句に関するもの
 - ▶月（January～December）12語
 - ▶曜日（Monday～Sunday）7語
 - ▶序数（first～thirteenth）13語
 - ▶色（black, blue, green, red, yellow, white）6語
 - ▶場所（house, library, park, school, station）5語
- 音声に関するもの

第2学年 出題範囲等

国語

※以下の題材を用いて、内容を正確に理解したり、適切に表現したりすることについて出題します。

《取り扱う題材》

- 漢字の読み・書き、言葉の特徴やきまりに関するもの
- 書写（行書）
- 文学的な文章、説明的な文章
- 児童・生徒の作文、発表原稿などの成果物、その他図表等を含むさまざまな種類の資料
- 古典、その他複数の題材を関連付けたもの

社会

●社会はA問題、B問題の2種類あり、各学校がどちらかを選択します。

A問題 《出題範囲を取り扱うページ》

〈地理的分野〉

| 発行者 | 地理的分野 | ページ |
|--------|--------------------|-------------|
| 東京書籍 | 第2章 世界から見た日本の姿 | P.156～P.263 |
| | 第3章 日本の諸地域 | |
| 教育出版 | 第2章 世界からみた日本のすがた | P.150～P.250 |
| | 第3章 日本の諸地域 | |
| 帝国書院 | 第2章 世界と比べた日本の地域的特色 | P.150～P.265 |
| | 第3章 日本の諸地域 | |
| 日本文教出版 | 第2章 世界からみた日本の姿 | P.150～P.254 |
| | 第3章 日本の諸地域 | |

〈地図〉

| 発行者 | 目次 | ページ |
|------|------|-------------|
| 東京書籍 | 統計 | P.156～P.165 |
| 帝国書院 | 統計資料 | P.156～P.164 |

〈歴史的分野〉

| 発行者 | 歴史的分野 | ページ |
|--------|-------------------|---------------------------|
| 東京書籍 | 第4章 近世の日本 | P.97～P.131 P.134～P.140 |
| | 第4章 近世の日本と世界 | P.87～P.130 |
| 帝国書院 | 第4部 武家政権の展開と世界の動き | P.86～P.137 |
| 日本文教出版 | 第4編 近世の日本 | P.96～P.145 |
| 育鵬社 | 第3章 近世の日本 | P.97～P.135 P.140～P.150 |

※A・B問題とも上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

※A・B問題とも〈地図〉については、該当ページのうち〈地理的分野〉の教科書の出題範囲に関連する内容とします。

B問題 《出題範囲を取り扱うページ》

〈地理的分野〉

| 発行者 | 地理的分野 | ページ |
|--------|--------------------|-------------|
| 東京書籍 | 第2章 世界から見た日本の姿 | P.141～P.238 |
| | 第3章 日本の諸地域 | |
| 教育出版 | 第2章 世界からみた日本のすがた | P.137～P.224 |
| | 第3章 日本の諸地域 | |
| 帝国書院 | 第2章 世界と比べた日本の地域的特色 | P.132～P.239 |
| | 第3章 日本の諸地域 | |
| 日本文教出版 | 第2章 世界からみた日本の姿 | P.131～P.229 |
| | 第3章 日本の諸地域 | |

〈地図〉

| 発行者 | 目次 | ページ |
|------|------|-------------|
| 東京書籍 | 統計 | P.156～P.165 |
| 帝国書院 | 統計資料 | P.156～P.164 |

〈歴史的分野〉

| 発行者 | 歴史的分野 | ページ |
|--------|-------------------|-------------|
| 東京書籍 | 第4章 近世の日本 | P.120～P.169 |
| | 第5章 開国と近代日本の歩み | |
| 教育出版 | 第4章 近世の日本と世界 | P.114～P.165 |
| | 第5章 近代の幕開け | |
| | 第6章 近代の日本と世界 | |
| 帝国書院 | 第4部 武家政権の展開と世界の動き | P.118～P.171 |
| | 第5部 近代国家の歩みと国際社会 | |
| 日本文教出版 | 第4編 近世の日本 | P.128～P.181 |
| | 第5編 近代の日本と世界 | |
| 育鵬社 | 第3章 近世の日本 | P.124～P.181 |
| | 第4章 近代の日本と世界 | |

数学

《出題範囲を取り扱うページ》

| 発行者 | 単元名 | | | | ページ |
|--------|-----------------|---------------------|--------------------|-------------------|--------------------------------------|
| 東京書籍 | 1章 文字式を使って説明しよう | 2章 方程式を利用して問題を解決しよう | 3章 関数を利用して問題を解決しよう | 4章 図形の性質の調べ方を考えよう | P.9～P.124 |
| 学校図書 | 1章 式の計算 | 2章 連立方程式 | 3章 1次関数 | 4章 図形の性質の調べ方 | P.12～P.145 ◆P.136～P.137 (逆)を除く |
| 教育出版 | 1章 式の計算 | 2章 連立方程式 | 3章 1次関数 | 4章 平行と合同 | P.13～P.140 |
| 啓林館 | 1章 式の計算 | 2章 連立方程式 | 3章 一次関数 | 4章 図形の調べ方 | P.10～P.123 |
| 数研出版 | 1章 式の計算 | 2章 連立方程式 | 3章 1次関数 | 4章 図形の性質と合同 | P.15～P.137 |
| 日本文教出版 | 1章 式の計算 | 2章 連立方程式 | 3章 1次関数 | 4章 図形の性質と合同 | P.10～P.130 |
| 大日本図書 | 1章 式と計算 | 2章 連立方程式 | 3章 1次関数 | 4章 平行と合同 | P.12～P.133 |

※上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

理科

●理科はA問題、B問題の2種類あり、各学校がどちらかを選択します。

A問題 《出題範囲を取り扱うページ》

| 発行者 | 単元名 | ページ |
|-------|-------------------------|-------------|
| 東京書籍 | 単元1 化学変化と原子・分子 | P.12～P.87 |
| | 単元2 生物のからだのつくりとはたらき | P.88～P.169 |
| | 単元4 電気の世界 | P.249～P.272 |
| 大日本図書 | 単元1 化学変化と原子・分子 | P.6～P.79 |
| | 単元2 生物の体のつくりとはたらき | P.80～P.155 |
| | 単元3 電流とその利用 | P.160～P.191 |
| 学校図書 | 2-1 化学変化と原子・分子 | P.14～P.73 |
| | 2-2 動植物の生きるしくみ | P.74～P.143 |
| | 2-3 電流とそのはたらき | P.146～P.181 |
| 教育出版 | 単元1 化学変化と原子・分子 | P.6～P.81 |
| | 単元2 生物の体のつくりとはたらき | P.82～P.155 |
| | 単元4 電気の世界 | P.228～P.265 |
| 啓林館 | <u>生命</u> 生物の体のつくりとはたらき | P.2～P.69 |
| | <u>物質</u> 化学変化と原子・分子 | P.140～P.211 |
| | <u>エネルギー</u> 電流とその利用 | P.214～P.247 |

B問題 《出題範囲を取り扱うページ》

| 発行者 | 単元名 | ページ |
|-------|-------------------------|-------------|
| 東京書籍 | 単元1 化学変化と原子・分子 | P.12～P.87 |
| | 単元2 生物のからだのつくりとはたらき | P.88～P.169 |
| | 単元3 天気とその変化 | P.176～P.201 |
| 大日本図書 | 単元1 化学変化と原子・分子 | P.6～P.79 |
| | 単元2 生物の体のつくりとはたらき | P.80～P.155 |
| | 単元4 気象のしくみと天気の変化 | P.236～P.266 |
| 学校図書 | 2-1 化学変化と原子・分子 | P.14～P.73 |
| | 2-2 動植物の生きるしくみ | P.74～P.143 |
| | 2-4 天気とその変化 | P.220～P.247 |
| 教育出版 | 単元1 化学変化と原子・分子 | P.6～P.81 |
| | 単元2 生物の体のつくりとはたらき | P.82～P.155 |
| | 単元3 気象とその変化 | P.158～P.192 |
| 啓林館 | <u>生命</u> 生物の体のつくりとはたらき | P.2～P.69 |
| | <u>地球</u> 地球の大気と天気の変化 | P.72～P.98 |
| | <u>物質</u> 化学変化と原子・分子 | P.140～P.211 |

※A・B問題とも上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

英語

《出題範囲を取り扱うページ》

- 1年生の教科書のすべての内容
- 2年生

| 発行者 | 単元名 | ページ |
|------|--|----------|
| 東京書籍 | Unit0 My Spring Vacation～Unit6 Unit Activity | P.4～P.92 |
| 開隆堂 | PROGRAM1 Start of a New School Year～Word Web④ いろいろな前置詞 | P.7～P.88 |
| 光村図書 | Unit1 Hajin's Diary～Active Grammar⑦ 接続詞 | P.9～P.85 |
| 三省堂 | Fun with Books Starter～Project2 | P.5～P.90 |
| 啓林館 | Unit1 What is a Hero?～Project2 | P.7～P.89 |

★出題は《出題範囲を取り扱うページ》から行います。ただし、文法事項については《取り扱う言語材料》に記載しているもののみとします。

※上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

《取り扱う言語材料》

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○重文、複文 ○肯定及び否定の平叙文 ○肯定及び否定の命令文 ○疑問文のうち、助動詞（may, will など）で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞（how, what, when, where, which, who, whose, why）で始まるもの ○文構造 <ul style="list-style-type: none"> ▶[主語＋動詞] | <ul style="list-style-type: none"> ▶[主語＋動詞＋補語]のうち、主語＋be 動詞＋{名詞 代名詞 形容詞}、主語＋be 動詞以外の動詞＋{名詞 形容詞} ▶[主語＋動詞＋目的語]のうち、主語＋動詞＋{名詞 代名詞 動名詞 to 不定詞 that で始まる節} ▶[主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語]のうち、主語＋動詞＋間接目的語＋{名詞 代名詞} ▶There + be 動詞 + ～ | <ul style="list-style-type: none"> ○代名詞 <ul style="list-style-type: none"> ▶人称や指示、疑問、数量を表すもの ○接続詞 ○助動詞 ○動詞の時制及び相など <ul style="list-style-type: none"> ▶現在形、過去形、現在進行形、過去進行形及び助動詞などを用いた未来表現 ○to 不定詞 ○動名詞 ○have to, don't have to ○音声に関するもの |
|---|---|--|

第3学年 出題範囲等

国語

《出題範囲を取り扱うページ》

- 2年生までに学習したすべての内容
- 3年生

| 発行者 | 単元名 | ページ |
|------|---------------------------|-----------|
| 教育出版 | 春に～新聞が伝える情報を考える | P.14～P.67 |
| 三省堂 | 岩が～課題作文 条件に応じて説得力のある文章を書く | P.16～P.57 |

| | | |
|------|---------------------------|---------|
| 東京書籍 | 生命は～日本語探検2 間違えやすい敬語 | 巻頭～P.57 |
| 光村図書 | 世界はうつくしいと～思考のレッスン 具体化・抽象化 | 巻頭～P.51 |

※以下の題材を用いて、内容を正確に理解したり、適切に表現したりすることについて出題します。

《取り扱う題材》

- 漢字の読み・書き、言葉の特徴やきまりに関するもの
- 書写(楷書と行書)
- 文学的な文章、説明的な文章
- 児童・生徒の作文、発表原稿などの成果物、その他図表等を含むさまざまな種類の資料
- 古典、その他複数の題材を関連付けたもの

社会

《出題範囲を取り扱うページ》

〈地理的分野〉

地理の教科書のすべての内容

〈地図〉

| 発行者 | 目次 | ページ |
|------|------|-------------|
| 東京書籍 | 統計 | P.156～P.165 |
| 帝国書院 | 統計資料 | P.156～P.164 |

※〈地図〉については、該当ページのうち〈地理的分野〉の教科書の出題範囲に関連する内容とします。

〈歴史的分野〉

| 発行者 | 歴史的分野 | ページ |
|--------|----------------------------|-----------|
| 東京書籍 | 「第7章 1節 戦後日本の発展と国際社会」まで | P.5～P.249 |
| 教育出版 | 「第8章 1 日本の民主化と冷戦」まで | P.6～P.245 |
| 帝国書院 | 「第7部 第2章 世界の多極化と日本の成長」まで | P.1～P.247 |
| 日本文教出版 | 「第6編 1 平和と民主化への動き」まで | P.6～P.259 |
| 育鵬社 | 「第6章 第1節 第二次世界大戦後の占領と再建」まで | P.6～P.259 |

※上記以外のページにある資料等(年表、演習、コラムなど)で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

数学

《出題範囲を取り扱うページ》

- 1、2年生の教科書(移行用補助教材含む)のすべての内容
- 3年生

| 発行者 | 単元名 | | ページ |
|--------|-----------------|------------------|-----------------------------------|
| 東京書籍 | 1章 文字式を使って説明しよう | 2章 数の世界をさらにひろげよう | P.9～P.68 |
| 学校図書 | 1章 式の計算 | 2章 平方根 | P.12～P.73 |
| 教育出版 | 1章 式の計算 | 2章 平方根 | P.13～P.77 ◆P.70～P.72(近似値と有効数字)を除く |
| 啓林館 | 1章 式の展開と因数分解 | 2章 平方根 | P.10～P.65 ◆P.48、49(真の値と近似値)を除く |
| 数研出版 | 1章 式の計算 | 2章 平方根 | P.15～P.71 ◆P.65、66(誤差と有効数字)を除く |
| 日本文教出版 | 1章 式の展開と因数分解 | 2章 平方根 | P.10～P.66 ◆P.62、63(測定値と誤差)を除く |
| 大日本図書 | 1章 多項式 | 2章 平方根 | P.12～P.77 ◆P.50、51(近似値と有効数字)を除く |

※上記以外のページにある資料等(年表、演習、コラムなど)で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

理科

●理科はA問題、B問題、C問題の3種類あり、各学校がいずれかを選択します。

A問題 《出題範囲を取り扱うページ》

○1年生

| 発行者 | 単元名 | | ページ |
|----------|------------------|----------------------|-------------|
| 東京書籍 | 単元1 植物の世界 | 単元3 身のまわりの現象** | P.6～P.182 |
| | 単元2 身のまわりの物質 | 単元4 大地の変化 | P.188～P.270 |
| 移行用補助教材* | 力のつり合い | | P.2～P.4 |
| 大日本図書 | 単元1 植物の生活と種類 | 単元3 身近な物理現象** | P.6～P.184 |
| | 単元2 物質のすがた | 単元4 大地の変化 | P.191～P.282 |
| 移行用補助教材* | 力のつり合い | | P.2～P.4 |
| 学校図書 | [A-1] 身のまわりの物質 | [B-1] 植物の世界 | P.5～P.121 |
| | [A-2] 身のまわりの現象** | [B-2] 変動する大地 | P.127～P.295 |
| 移行用補助教材* | 力がつり合うのはどのようなときか | | P.1～P.3 |
| 啓林館 | [生命] 植物のくらしとなかま | [物質] 身のまわりの物質 | P.1～P.219 |
| | [地球] 活きている地球 | [エネルギー] 光・音・力による現象** | P.224～P.260 |
| 移行用補助教材* | 2力のつり合い | | P.①～P.③ |

* 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、教科書発行者より配布される補助教材の当該ページを出題範囲に含みます。

** 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、「圧力」のうち1年生の教科書の出題範囲から除かれた『水圧』については3年生の教科書の出題範囲に含まれます。

○2年生

| 発行者 | 単元名 | | ページ |
|----------|-------------------|------------------|----------------------|
| 東京書籍 | 単元1 化学変化と原子・分子 | 単元3 天気とその変化 | P.6～P.132 |
| | 単元2 動物の生活と生物の変遷** | 単元4 電気の世界 | P.144～P.286 |
| 移行用補助教材* | 放射線の性質と利用 | | P.6～P.8、② |
| 大日本図書 | 単元1 化学変化と原子・分子 | 単元3 電流とその利用 | P.6～P.141 |
| | 単元2 動物の生活と生物の進化** | 単元4 気象のしくみと天気の変化 | P.152～P.304 |
| 移行用補助教材* | 放射線 | | P.5～P.9 |
| 学校図書 | A-3 化学変化と原子・分子 | B-3 動物の世界** | P.5～P.200 |
| | A-4 電流とそのはたらき | B-4 天気とその変化 | P.207 P.210～P.303 |
| 移行用補助教材* | 放射線の性質とその利用 | | P.4、後① |
| 啓林館 | 生命 動物の生活と生物の進化** | 物質 化学変化と原子・分子 | P.1～P.51 |
| | 地球 地球の大気と天気の変化 | エネルギー 電流の性質とその利用 | P.60～P.270 |
| 移行用補助教材* | 放射線の性質とその利用 | | P.④～P.⑤ |

* 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、教科書発行者より配布される補助教材の当該ページを出題範囲に含みます。

** 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、「生物の変遷と進化」については出題範囲から除きます。

○3年生

| 発行者 | 単元名 | ページ |
|-------|----------------|-------------|
| 東京書籍 | 単元3 運動とエネルギー | P.130～P.191 |
| 大日本図書 | 単元1 運動とエネルギー | P.6～P.83 |
| 学校図書 | 3-1 運動とエネルギー | P.12～P.75 |
| 教育出版 | 単元4 運動とエネルギー | P.186～P.261 |
| 啓林館 | エネルギー 運動とエネルギー | P.174～P.249 |

※第1・2・3学年とも上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含みます。

B問題 《出題範囲を取り扱うページ》

○1年生

| 発行者 | 単元名 | | ページ |
|----------|------------------|--------------------|-------------|
| 東京書籍 | 単元1 植物の世界 | 単元3 身のまわりの現象** | P.6～P.182 |
| | 単元2 身のまわりの物質 | 単元4 大地の変化 | P.188～P.270 |
| 移行用補助教材* | 力のつり合い | | P.2～P.4 |
| 大日本図書 | 単元1 植物の生活と種類 | 単元3 身近な物理現象** | P.6～P.184 |
| | 単元2 物質のすがた | 単元4 大地の変化 | P.191～P.282 |
| 移行用補助教材* | 力のつり合い | | P.2～P.4 |
| 学校図書 | A-1 身のまわりの物質 | B-1 植物の世界 | P.5～P.121 |
| | A-2 身のまわりの現象** | B-2 変動する大地 | P.127～P.295 |
| 移行用補助教材* | 力がつり合うのはどのようなときか | | P.1～P.3 |
| 啓林館 | 生命 植物のくらしとなかま | 物質 身のまわりの物質 | P.1～P.219 |
| | 地球 活きている地球 | エネルギー 光・音・力による現象** | P.224～P.260 |
| 移行用補助教材* | 2力のつり合い | | P.①～P.③ |

* 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、教科書発行者より配布される補助教材の当該ページを出題範囲に含みます。

** 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、「圧力」のうち『水圧』については出題範囲から除きます。

○2年生

| 発行者 | 単元名 | | ページ |
|----------|-------------------|------------------|----------------------|
| 東京書籍 | 単元1 化学変化と原子・分子 | 単元3 天気とその変化 | P.6～P.132 |
| | 単元2 動物の生活と生物の変遷** | 単元4 電気の世界 | P.144～P.286 |
| 移行用補助教材* | 放射線の性質と利用 | | P.6～P.8、② |
| 大日本図書 | 単元1 化学変化と原子・分子 | 単元3 電流とその利用 | P.6～P.141 |
| | 単元2 動物の生活と生物の進化** | 単元4 気象のしくみと天気の変化 | P.152～P.304 |
| 移行用補助教材* | 放射線 | | P.5～P.9 |
| 学校図書 | A-3 化学変化と原子・分子 | B-3 動物の世界** | P.5～P.200 |
| | A-4 電流とそのはたらき | B-4 天気とその変化 | P.207 P.210～P.303 |
| 移行用補助教材* | 放射線の性質とその利用 | | P.4、後① |

| | | | |
|----------|------------------|------------------|------------|
| 啓林館 | 生命 動物の生活と生物の進化** | 物質 化学変化と原子・分子 | P.1～P.51 |
| | 地球 地球の大気と天気の変化 | エネルギー 電流の性質とその利用 | P.60～P.270 |
| 移行用補助教材* | 放射線の性質とその利用 | | P.④～P.⑤ |

* 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、教科書発行者より配布される補助教材の当該ページを出題範囲に含みます。

** 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、「生物と変遷と進化」については出題範囲から除きます。

○3年生

| 発行者 | 単元名 | | ページ |
|-------|----------------|--------------|------------------------|
| 東京書籍 | 単元1 化学変化とイオン | 単元2 生命の連続性 | P.8～P.73, P.78～P.83 |
| 大日本図書 | 単元2 生命のつながり | 単元4 化学変化とイオン | P.88～P.93, P.164～P.223 |
| 学校図書 | 3-2 生物どうしのつながり | 3-3 化学変化とイオン | P.79～P.84, P.132～P.185 |
| 教育出版 | 単元1 化学変化とイオン | 単元2 生命の連続性 | P.4～P.65, P.68～P.75 |
| 啓林館 | 生命 生命の連続性 | 物質 化学変化とイオン | P.12～P.15, P.106～P.173 |

※第1・2・3学年とも上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含みます。

C問題 《出題範囲を取り扱うページ》

○1年生

| 発行者 | 単元名 | | ページ |
|----------|------------------|--------------------|-------------|
| 東京書籍 | 単元1 植物の世界 | 単元3 身のまわりの現象** | P.6～P.182 |
| | 単元2 身のまわりの物質 | 単元4 大地の変化 | P.188～P.270 |
| 移行用補助教材* | 力のつり合い | | P.2～P.4 |
| 大日本図書 | 単元1 植物の生活と種類 | 単元3 身近な物理現象** | P.6～P.184 |
| | 単元2 物質のすがた | 単元4 大地の変化 | P.191～P.282 |
| 移行用補助教材* | 力のつり合い | | P.2～P.4 |
| 学校図書 | A-1 身のまわりの物質 | B-1 植物の世界 | P.5～P.121 |
| | A-2 身のまわりの現象** | B-2 変動する大地 | P.127～P.295 |
| 移行用補助教材* | 力がつり合うのはどのようなときか | | P.1～P.3 |
| 啓林館 | 生命 植物のくらしとなかま | 物質 身のまわりの物質 | P.1～P.219 |
| | 地球 活きている地球 | エネルギー 光・音・力による現象** | P.224～P.260 |
| 移行用補助教材* | 2力のつり合い | | P.①～P.③ |

* 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、教科書発行者より配布される補助教材の当該ページを出題範囲に含みます。

** 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、「圧力」のうち『水圧』については出題範囲から除きます。

○2年生

| 発行者 | 単元名 | | ページ |
|----------|-------------------|------------------|----------------------|
| 東京書籍 | 単元1 化学変化と原子・分子 | 単元3 天気とその変化 | P.6～P.132 |
| | 単元2 動物の生活と生物の変遷** | 単元4 電気の世界 | P.144～P.286 |
| 移行用補助教材* | 放射線の性質と利用 | | P.6～P.8, ② |
| 大日本図書 | 単元1 化学変化と原子・分子 | 単元3 電流とその利用 | P.6～P.141 |
| | 単元2 動物の生活と生物の進化** | 単元4 気象のしくみと天気の変化 | P.152～P.304 |
| 移行用補助教材* | 放射線 | | P.5～P.9 |
| 学校図書 | A-3 化学変化と原子・分子 | B-3 動物の世界** | P.5～P.200 |
| | A-4 電流とそのはたらき | B-4 天気とその変化 | P.207 P.210～P.303 |
| 移行用補助教材* | 放射線の性質とその利用 | | P.4, 後① |
| 啓林館 | 生命 動物の生活と生物の進化** | 物質 化学変化と原子・分子 | P.1～P.51 |
| | 地球 地球の大気と天気の変化 | エネルギー 電流の性質とその利用 | P.60～P.270 |
| 移行用補助教材* | 放射線の性質とその利用 | | P.④～P.⑤ |

* 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、教科書発行者より配布される補助教材の当該ページを出題範囲に含みます。

** 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、2年生の教科書の出題範囲から除かれた「生物と変遷と進化」については3年生の教科書の出題範囲に含まれます。

○3年生

| 発行者 | 単元名 | | ページ |
|-------|----------------|--------------|-------------------------|
| 東京書籍 | 単元1 化学変化とイオン | 単元2 生命の連続性 | P.11～P.28, P.74～P.129 |
| 大日本図書 | 単元2 生命のつながり | 単元4 化学変化とイオン | P.84～P.135, P.168～P.183 |
| 学校図書 | 3-2 生物どうしのつながり | 3-3 化学変化とイオン | P.78～P.113, P.134～P.151 |
| 教育出版 | 単元1 化学変化とイオン | 単元2 生命の連続性 | P.6～P.23, P.66～P.121 |
| 啓林館 | 生命 生命の連続性 | 物質 化学変化とイオン | P.2～P.45, P.108～P.123 |

※第1・2・3学年とも上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含みます。

《出題範囲を取り扱うページ》

- 1、2年生の教科書のすべての内容
- 3年生

| 発行者 | 単元名 | ページ |
|------|---|------------|
| 東京書籍 | Unit0 Three Interesting Facts about Languages ~ Let's Listen② | P.4 ~ P.34 |
| 開隆堂 | PROGRAM1 Bentos Are Interesting! ~ Steps2 メモのとり方を学ぼう | P.7 ~ P.38 |
| 光村図書 | Unit1 School Life Around the World ~ Unit3 Goal | P.9 ~ P.39 |
| 三省堂 | Power of Music Starter ~ Project1 | P.5 ~ P.33 |
| 啓林館 | Unit1 Food Cultures ~ Unit3 Passing Down Memories Part3 | P.7 ~ P.39 |

★出題は《出題範囲を取り扱うページ》から行います。ただし、文法事項については《取り扱う言語材料》に記載しているもののみとします。
 ※上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

《取り扱う言語材料》

- 重文、複文
- 疑問文のうち、助動詞（may, will など）で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞（how, what, when, where, which, who, whose, why）で始まるもの
- 文構造
 - ▶[主語+動詞]
 - ▶[主語+動詞+補語]のうち、主語+be 動詞+{名詞 代名詞 形容詞}、主語+be 動詞以外の動詞+{名詞 形容詞}
- ▶[主語+動詞+目的語]のうち、主語+動詞+{名詞 代名詞 動名詞 to 不定詞 that で始まる節}
- ▶[主語+動詞+間接目的語+直接目的語]のうち、主語+動詞+間接目的語+{名詞 代名詞}
- ▶[主語+動詞+目的語+補語]のうち、主語+動詞+目的語+名詞
- ▶There + be 動詞 + ~
- 代名詞
 - ▶人称や指示、疑問、数量を表すもの
- 接続詞
- 助動詞
- 動詞の時制及び相など
 - ▶現在形や過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形、現在完了進行形、助動詞などを用いた未来表現
- 形容詞や副詞を用いた比較表現
- to 不定詞
- 動名詞
- 受け身
- 音声に関するもの

大阪府公立高等学校入学者選抜調査書評定の府内統一ルールについて

1・2年生

- ①府教育委員会は、各学年の2学期末までの府内公立中学校の評定の状況により、各学年の「府全体の評定平均」を定めます。
- ②各中学校は、1月に実施するチャレンジテストの自校の結果と府全体の平均とを比べて、自校の各学年の「評定平均の範囲」を算出します。

[例] 府全体の評定平均が3.49の場合の「評定平均の範囲」

| | X中学校 | Y中学校 | 府全体 |
|--------------------------------|-----------|-----------|-------|
| チャレンジテストの平均点 | 57.0点 | 63.0点 | 60.0点 |
| チャレンジテストの対府比【A】 | 0.95 | 1.05 | 1.00 |
| 評定平均の目安【B】 （「府全体の評定平均」×【A】） | 3.32 | 3.66 | 3.49 |
| 評定平均の範囲（【B】±0.3） | 3.02～3.62 | 3.36～3.96 | — |

- ③各中学校は、自校の各学年全体のチャレンジテスト実施教科（中学1年生は3教科（国、数、英）、中学2年生は5教科（国、社、数、理、英））の評定の平均と、②で求めた「評定平均の範囲」とを比べ、適切な評価が行われているか検証します。「評定平均の範囲」に収まらない場合は、評価の方法の見直しを行った上で、評定をつけます。

3年生

- ①5教科（国語、社会、数学、理科、英語）について、府教育委員会は、第2学年の学年末の府内公立中学校の評定の状況により、中学3年生の「府全体の評定平均」を定めます。
- ②各中学校は、中学3年生の9月に実施するチャレンジテストの自校の結果と府全体の平均とを比べて、自校の「評定平均の範囲」を算出します。（上記[例]を参照。）
- ③各中学校は、自校の3年生全体の5教科の評定の平均と、②で求めた「評定平均の範囲」とを比べ、適切な評価が行われているか検証します。「評定平均の範囲」に収まらない場合は、評価の方法の見直しを行った上で、評定をつけます。
- ④4教科（音楽、美術、保健体育、技術・家庭）について、府教育委員会は、第2学年の学年末の府内公立中学校の評定の状況により、中学3年生の「府全体の4教科の評定平均」を定めます。
- ⑤各中学校は、自校の3年生全体の4教科の評定の平均と、「府全体の4教科の評定平均」の±0.3の範囲及び②で求めた「評定平均の範囲」の最大値から最小値までの範囲とを比べ、適切な評価が行われているか検証します。収まらない場合は、評価の方法の見直しを行った上で、評定をつけます。

※事業の一部（調査問題の配送・回収、採点・集計等）は、大阪府教育委員会が民間機関に委託して実施します。